

夏の飛躍を準備する

茗溪塾塾長 長谷誠基

6月に入り、うっとうしい季節になってきました。今の時期は運動会、体育祭、修学旅行、定期試験など学校行事も多く、毎日毎日を忙しく過ごしている生徒も多いと思います。塾では各学年対象の説明会や面談が始まっていて、志望校や今後の学習の方向性についてお話しさせていただいています。その中で夏休みの過ごし方を提案していますが、夏を充実したものにするために重要なのが、この6月から7月前半にかけてになります。

夏期講習では、受験学年はこれまでに学習した内容の総復習を行い入試問題に取り組み始めることになります。受験学年以外もそれまでに学習した内容の中で理解しきれていないところを理解し発展させていくのが大きな狙いです。しかし、そのときにあまりに基礎があやふやだと基礎の習得に時間がかかりすぎ、入試問題や発展内容に取り組むのがなかなかできなくなってしまいます。そのため、できれば今の時期に今学習している内容だけでも、基本問題をできるようにしたり、少しずつでも復習を始めるとより夏の学習の効果が出てくると思います。

中学生で定期試験がある場合には、その学習内容を定着させるのが一番の早道だと思います。学校のワークを繰り返し解いて、間違えた問題をやり直す。または何度も覚え直す。これを徹底させましょう。小6の中学受験コースの場合は、四科のまとめを使うのが一番いいと思います。春休みから始めた四科のまとめですが、非常に基本が良くまとまっていて、弱点補強には最適の教材です。何度も繰り返していくと、模試の成績にも徐々に表れてきます。少しずつでいいので進めていきましょう。それ以外のコースは確認テストなどのできなかった問題のやり直しをするのが効果的です。今月は6月2日に全国統一小学生テストが行われました。その成績表が9日以降に返却されます。また、今月の終わりには小学生対象の標準学力テストがありますので、それを利用するのもいいと思います。せっかく受けたテストですので、最大限生かすにはやはりできなかった問題をできるようにすることだと思います。

茗溪塾では今後も学習にいかせるイベントがたくさんあります。夏期のお盆特訓を始め秋にも全国統一小学生テストや対策授業、見直し指導、標準学力テスト、各コースの合同特訓など仲間と競い合いながら楽しく勉強していけると思います。1人でやるよりもみんなで行った方が楽しく取り組みます。忙しいと目先のことに走りがちですが、先を見据えながらいろんなことにチャレンジしていきましょう。